

弊社情報誌「自治体法務NAVI」 好評連載記事を単行本化!

政策条例 のつくりかた

—課題発見から議会提案までのポイント

政策課題の発見、現場の調査・分析、関係者との調整など、条例策定に向けた検討の開始から議会提案までの一連の流れに沿って、各段階のポイントを明らかに!
自治体の実務担当者が今すぐ活用できる、条例づくりのための手引書。

条例づくりは作文ではない!!

松下 啓一 著

A5判・232頁
定価 本体2,200円+税

政策条例 のつくりかた

課題発見から議会提案までのポイント

松下啓一 著



条例づくりは作文ではない!!

政策課題の発見、現場の調査・分析、関係者との調整など、
条例策定に向けた検討の開始から
議会提案までの一連の流れに沿って、各段階のポイントを明らかに。
自治体の実務担当者が今すぐ活用できる、条例づくりのための手引書!

第一法規



本書の特色

▶ 条文化の前段階である調査・調整・仕組みづくりを重視

条例検討のきっかけとなる政策課題の発見から議会への提案まで網羅し、一連の流れに沿って、各段階の検討のポイントを明らかにした初めての書。

▶ 条例づくりの手引書として最適

本書は、3人の自治体職員が登場し、政策現場を再現しながら政策条例の策定過程を跡付けた初心者にも身近でわかりやすい構成。条例づくりの手引書や研修テキストとして最適。

▶ 政策条例づくりの経験者による説得力ある解説

元自治体職員で数多くの条例づくりを経験し、今も各地の自治体の条例制定を支援する著者が、自らの体験をベースに実効力のある政策条例のつくりかたを解説。

豊富な経験から得た方策が各所にちりばめられており、実務ですぐに活用できるヒントが満載。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-696
Fax. 0120-202-974

「はじめに」より（抜粋）

条例づくりというと、多くの人が、「第1条 この条例は……」といった条文をつくることをイメージします。しかし、これは私の体験とは大きく異なります。横浜市職員時代の26年間や退職後に市民と一緒に条例をつくるようになってからも、私にとっての条例づくりとは、調査・調整、仕組みづくりです。法的知識も法制執務も大切ですが、何よりも大事なものは、調査・調整、仕組みづくりです。

本書は、こうした私の体験をベースに、政策条例のつくりかたを紹介しています。その意味で、一般の条例づくりのテキストとは、だいぶ様子が異なりますが、これが政策現場の条例づくりだと思います。本書を参考に、全国の政策現場で魅力あふれる政策条例がつくられていくことを期待します。

著者紹介

松下 啓一（まつした・けいいち） 相模女子大学人間社会学部教授

26年間横浜市役所に勤務。市役所職員時代は、総務、環境、都市計画、経済、水道などの各部署で調査・企画を担当。2003年4月大阪国際大学法政経学部教授。2008年4月より現職。ひらかた市民活動支援センター理事を務める。専門は、現代自治体論（まちづくり、NPO・協働論、政策法務）。

目次

I 政策条例とは

- Chapter1 条例をつくるとは
- Chapter2 政策法務の真髄
——まちをつくる道具として

II 政策の創生

- Chapter3 政策課題の発見
- Chapter4 政策課題の決定
- Chapter5 基本方針の決定

III 政策事実の調査

- Chapter6 調査の開始
- Chapter7 現状調査① 市民意向、現況の把握
- Chapter8 現状調査② 関連法・処理の実際

IV 条例案の具体化

- Chapter9 条例案の検討① 条例案の大綱づくり
- Chapter10 条例案の検討② 市民参加
- Chapter11 政策実現手法の検討

V 綿密な調整

- Chapter12 対内的な調整（行政機関等）
- Chapter13 対外的な調整（事業者等）

VI 条例案の作成と提案

- Chapter14 条文の作成
——政策立案側から見た法制執務
- Chapter15 条例の議会審議

お試し読み、お申込はコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索



CLICK!